

# 市民の意見

発行：市民の意見30の会・東京

NO.136

2013/2/1

【毎偶数月1日発行】



発行者の住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-29-12-305 TEL:03-3423-0185 FAX:03-3402-3218

郵便振替：00120-9-359506 eメール：iken30@mwb.biglobe.ne.jp ホームページ：http://www1.jca.apc.org/iken30

\* 隔月刊・購読料・送料とも年2500円、一部400円、協会の会費年5000円、敬老・障がい者会費年2000円、グリーン会費年1000円

「将来は絵もやり  
舞台評論や戯曲も書きたい」

正の夢は大きかった。

幼い頃に父をうしなったせい

か妹の喜代子をとてても可愛がり

たまに帰省すると

喜代子こそばから離さず

学校のこと、東京のこと

恋びとのことなどを

うれしそうに語った。

喜代子の結婚のときには

「妹を大事にしてほしい」

ポロポロと大粒の涙をながし

「これからの女は

教養がなければダメだよ

だから何でもやってみなさい」

そんなふうだった。

熱烈な恋で結ばれた妻・昌子は

正の戦死が知らされた翌年病死。

うわごとのように

「おとうさん、おとうさん」

正の名をよびながら

息をひきとったという。



庄司正「曇り日」

（無言館所蔵）

（作者の経歴は3ページ）

（窪島誠一郎「無言館の詩

戦没画学生「祈りの絵」第Ⅲ集（講談社）より）

## 市民の意見 136号 目次

●巻頭詩「火の路地」

大原勝人

●声明「12・16総選挙の結果を見て皆さんに訴えます」

4

●特集1 9条実現を目指して

日米安保の呪縛・責任の問題・言葉の詐術

高橋武智

5

市民の世論で改憲をとめよう

中北龍太郎

7

非暴力と反軍の九条1

古沢宣慶

9

●特集2 「3・11」2年後の原発

脱原発と真剣に取り組むドイツ（1）

永井潤子

11

原発被害者・被ばく労働者の要求

海棠ひろ

14

再稼働の嵐とどう闘うか

柳田 真

16

●運動の現場から

沖縄意見広告運動第4期始動

加藤宣子

18

東京からドレスデンへ・空襲の記憶を読む

山本唯人

19

焼津流平和の作り方

加藤一夫

21

テントで見た「グリーンナムの女たち」

黒田節子

22

●文化

連載エッセイ③「映像を疑うレッスン」

鈴木一誌

24

映画の紹介「いのちがいちばん輝く日」

本野義雄

25

本の紹介 池田浩士著「石炭の文学史」

天野恵一

26

反戦交友録⑫「満100歳の母」

吉川勇一

27

●情報

事務局長より

吉田和雄

28

市民意見広告運動から再度のお願い

野澤信一

29

インフォメーション

野澤信一

31

読者のおたより

野澤信一

32

編集後記・会計報告

野澤信一

36

◆題字 安西賢誠

◆題字 村雲 司